

事業計画書

ふるさと・きずな維持・再生支援事業（福島県文化振興課助成事業）

※本事業は福島県の助成を受けて実施するものです。

事業名：地域間交流事業「ふくしまみなと未来塾 浜の文化を知ろう」

1. 事業目的

港区及び首都圏在住の青年世代、児童・生徒・保護者と原子力災害からの復興に取り組み続ける福島県民、生産者、地域住民との直接的な交流を通じて、地方と都市の人を通じた相互理解と持続的な文化、教育、食、観光の交流を創造する。

2. ツアー実施のテーマ：福島海とのふれあいで福島海を取り返す

・福島県いわき市薄磯海岸は、地域ばかりでなく、福島県民がもっとも利用する海水浴場でした。首都圏でいえば、湘南、江ノ島と同じような位置づけの海です。

・3.11 以後、原子力災害、津波被害で地域は崩壊、海水浴場としても利用できない日々が7年続きました。これが本年、国、県、市の検査をクリアし、返ってきます。

・一方、相馬市原釜尾浜海水浴場は、来年夏からの再開が決定しています。

・福島海への安全性への不安は、他と比べても高いものがあり、すぐにこれらが震災前に回復することは期待できません。

・しかし、自らの地域の再生、回復、新生を目指して、地域の人々、青年世代がこの6年、漁業、水産加工、地域環境整備と復活へ向けて、取り組んでいます。

・本ツアーは、こうした地域の人々とふれあい、港区、首都圏の人々が福島海への

復活、再生に期待を寄せる思いを届け、今後の新しい地域間交流をつくることを大きな狙いとしています。

3. 実施日：平成29年8月5日（土）6日（日）

2. 実施内容

①1泊2日の福島県浜通りへのバスによるスタディ交流ツアー。

②参加費は、中学生以下無料。大人1名¥3,000-

③参加費3000円で、バス運行費・両日のランチ・宿泊費・2日目朝食が付きます。

す。

その他団体旅行保険、イベント保険加入料も含まれます。

担当旅行代理店(株)トラベル日本 ※出発朝食・宿泊夜食は自己負担

④参加対象者

- ・港区立小中学校の児童・生徒・保護者 40 名（応募による）
- ・港区及び首都圏在住勤務の青年男女 40 名（応募による）

⑤行程予定 バス 2 台によるツアー

第 1 日

- ・東京→相馬市（相馬の漁師めし体験と芸能鑑賞交流）→いわき市沼ノ内公民館子ども獅子舞稽古見学→いわき市（泊）
- ・いわき市ホテル→いわき市塩屋埼灯台見学→いわき市民館（被災学習と伝統芸能鑑賞）→いわき市薄磯海岸（スイカ割りなどの海遊びと浜のかあちゃんめし体験・海岸清掃活動）→東京